



第3号では、教材の執筆・改訂に携わってくださっております、山脇学園中学校・高等学校の高瀬先生、岩永先生にインタビューをし、2022年1月に実施された大学入学共通テストの分析を踏まえ、普段の授業や評価方法との関連性について語っていただきました！



今回の大学入学共通テストは「必要情報を素早く処理し、問題を複合的に把握する力」が求められているように感じますが、改めていかがでしたか？

営業担当



問題によって緩急をつけなければいけないものが多かったように感じます。複合的な問題か、瞬時に解ける問題かを見極めるために斜め読みできるかどうかが大切だったように見受けられました。

岩永先生

このような力は、普段から訓練していないと身につけません。本校では中学1年生から「ENGLISH DISCOVER」を授業で採用しておりますが、大学入学共通テストの意図と共通する問いが多く、この教材を使用していけば大学入学共通テスト専用の対策をする必要はないのでは？と感じるほどです。

また、本校では普段から思考力を意識した授業を取り入れ、授業案は先生同士でコミュニケーションを取りながら共有しております。「事実」と「意見」を見分ける練習や、因果関係・結果予測といった力も意識し、その集大成としての定期考査はこのような問題を出題しました。

問 3 One **fact** from the judges' individual comments is that [ 8 ].

- Ⓐ all the judges praised Green Forest's song
- Ⓑ Green Forest need to practice more
- Ⓒ Mountain Pear can sing very well
- Ⓓ Silent Hill have a promising future

問 4 One **opinion** from the judges' comments and shared evaluation [ 9 ].

- Ⓐ each evaluated band received the same total score
- Ⓑ Ms Wells' suggestion about originality was agreed on
- Ⓒ Silent Hill really connected with the audience

**fact(事実)、opinion(意見)の区別**

<思考力問題>  
11 <Fact or Opinion(事実・意見)> 1x9  
各文で事実を述べている場合はFを、意見の場合はOを書きなさい。

3人の生徒が冬休みにやったことを英語で日記にしました。  
Mark 1) I went to the Dinosaur Museum during the winter vacation.  
2) I saw a lot of dinosaurs.  
3) It was very exciting.  
Kate 4) During the vacation, I went skiing with my family.  
5) My father taught skiing to me.  
6) He is cool.  
Dinu 7) I went on a trip with my family during the winter vacation.  
8) I went to Kyoto and Nara.  
9) I liked Kinkakuji very much.

※dinosaur: 恐竜

問 4 The guests will **not** get around [ 28 ] on that day.

- Ⓐ by bus
- Ⓑ by taxi
- Ⓒ by train
- Ⓓ on foot

問 5 As a third option, which would be the [ 29 ].

- Ⓐ Hibari Amusement Park
- Ⓑ Hibari Art Museum
- Ⓒ Hibari Castle

**Cause & Effect(因果関係)、Predicting Outcomes(結果予測)**

2) マイクとジェーンの電話のやりとりを読み、[ ア ]に入る場所を表す英語を1語で書きなさい。  
3) メアリーの発言の中にマイクにとって**不必要な情報**があります。1文抜き出さない。  
4) 電話後のマイクの行動として**可能性も低いもの**を1~5から1つ選びなさい。

1. マイクは姉をみつけ、要件を伝えた。
2. マイクは姉と会えず、引き続き探し回った。
3. マイクはメアリーに再び連絡しを一緒に姉を探すよう頼んだ。
4. マイクは姉に携帯で連絡を取り、公園で困っているユキを助けた。
5. マイクは姉を探すのを諦め、メアリーと合流。公園の花を一緒に眺めて楽しんだ。

問 5 One **fact** stated by a previous student is that [ 10 ].

- Ⓐ headphones or earplugs
- Ⓑ the library is open
- Ⓒ the library orientati
- Ⓓ the Study Area is o

**分類・関係・具体**

アーオの文をヒントに、(1)~(4)がそれぞれ何について説明しているかを考えて、日本語で答えなさい。また、アーオの5つの文は、4つの Fact(事実)の文と1つの Opinion(意見)の文で成り立っています。Opinion の文はどれか、記号で答えなさい。

(1) A This temple is in northern Kyoto. イ It was built in 1397. ウ It is formally called Rokun-ji. エ It is covered with gold paper and stands by a pond. オ It is very beautiful. ( ) Opinion ( )

(2) A This picture is displayed at "the Louvre Museum in Paris. イ It was painted by the Italian artist, "Leonardo da Vinci, about 500 years ago. ウ A lady is smiling softly in the picture. エ It was stolen from the museum in 1911. オ It came back ( ) Opinion ( )

DiscoverII 第10章

re Museum : ルーブル美術館 Leonardo da Vinci : レオナルド・ダ・ヴィンチ ( ) Opinion ( )

問 1 Put the following events (①~④) into the order they happened.

[ 18 ] → [ 19 ] → [ 20 ] → [ 21 ]

- Ⓐ All members reach
- Ⓑ Some members ga
- Ⓒ The group travelle
- Ⓓ The team member

**分類・配列・因果・関連**

次の英文はある夫婦の対話です。2人の対話を並べかえると、1つの話が完成します。自然な順序になるように、2人のそれぞれの発言を並べかえて、記号で答えなさい。ただし、1つだけ不要な発言があります。

A Husband: Oh, that's my "fault". I'm sorry for that. I tried to buy something for you. But all stores "were closed."  
Husband: That's not my fault. "In fact, I remembered to return the books, but the city library was closed on that day."  
B Husband: Why do you say that again and again? "That's enough! Please stop saying the same thing many times! Don't worry. "Trust me."  
C Thank you for telling me about the library books. I didn't know that.  
Husband: Really? Oh, you forgot to say "Happy birthday" on my last birthday.

DiscoverII 第6章

問 2 You have been asked to write descriptions of Type 2 and Type 3 plastics. Choose the best options for [ 45 ] and [ 46 ].

Type 2 [ 45 ]

- Ⓐ and commonly know
- Ⓑ and used at a wide ra
- Ⓒ but harmful to human
- Ⓓ but unsuitable for dr

**比較・関連**

中学生のヒロシが高校受験で学校を選んでます。表1は、ヒロシの希望をいくつか示しています。表2は、A、B、C各学校の在校生からのメッセージを示しています。表1と表2を見て、在校生からのメッセージの内容がヒロシの希望を最も多く満たしていると考えられる学校をA~Cの中から1つ選び、アルファベットで答えなさい。

表1  
・英語が好きで、話せるようになりたい。 ・外国に行きたい。  
・バスケットボールの練習にも力を入れたい。  
・携帯電話の持ち込みが許可されている学校がいい。

表2  
A 学校 在校生からのメッセージ  
I enjoy English classes every day. Japanese culture is important for us, we're going to visit Kyoto and Nara next year.  
B 学校 在校生からのメッセージ  
Our school has many rules. For example, we can't bring our mobile phones.

DiscoverI 第21章

出典:大学入試センター  
そして、本校では評価方法として、ICEモデル (Ideas (知識)・Connections (つながり)・Extensions (応用))を取り入れております。「ENGLISH DISCOVER」はブルームのタクソノミーを用いた多くの思考パターンが含まれているため、ICEモデルを活用した授業で思考力を鍛える訓練をし、定期考査でその力を測り、観点別に評価するといった流れは、大学入学共通テストを踏まえても、今後も続けていきたいと考えております。



高瀬先生

普段から思考コードを意識する問題を解いていって、コンテンツのレベルを上げていけば自然と共通テストに向けての対策になると考えておりますが、今回の大学入学共通テストは、「目的や場面を意識した問題」が多かったように感じます。例えば、「プレゼンをするために〜」「イベントをするために〜」といった問題です。問題の場面が実体験の中に組み込まれていることで、より自分事として捉え解決するための力が求められていると感じました。「複数の情報から要点を把握する力」が求められた分、読解量は若干増加したように感じます。



ただ、「思考力を鍛える」ことについて、中学1年生の段階では難しさを感じている先生もいらっしゃると思います。御校では実際にどのようなことを意識していますか？



観点別学習が主眼になってきて、「知識」から「思考」へと評価基準が移行しています。つまり、「知識」と「思考」を分けて考えていく必要があると言えます。

「思考力問題って何だろう？」と考えたときに、ただ難易度を上げれば良いというわけではありません。ENGLISH DISCOVERや大学入学共通テストにあるエッセンスを吸い上げていくことが重要と考えていますし、私たちも意識をしている部分です。

しかしそれは、高校生になってから急いで行うのではなく、逆算して中学1年生の段階から「思考力」という軸を作って「自分の頭の中を整理し、論理的に伝える」訓練を意図的に組み込むことが大切だと考えています。



そのような教育方針は、中学2年、3年…と学年が上がるにつれてどのように変化していくのでしょうか？



中学3年間の方針は変わりません。ENGLISH DISCOVERのステップを上げていくだけです。ただ、ライティングは強化していきたいですね。



「英語で話せるようになること」と同時に、英語を介して多文化の世の中で「課題解決していく力」が必要だと考えています。

そのような力を育てていくために、中学1年生では日本語で質問したり、説明させたりしていますが、学年を追うごとに日本語よりも英語で表現させる機会を増やしていきたいですね。

### ■インタビューを終えて…

大学入試は生徒の人生において通過点にすぎません。両先生は、大学入試で合格するための授業ではなく、さらにその先を見据え、多文化が入り混じる国際社会において活躍できる人を育てるために何ができるかを考えていらっしゃる事が非常に伝わってきました。その考えを実現させる手段の一つとしてのENGLISH DISCOVERであり、評価する手段の一つとしての定期考査や大学入学共通テストであるのだと思います。



今回の改訂では、思考力問題・読解問題ともに、「思考力を問う問いとは何か」について改めて考え、制作を進めております。ぜひ、改訂版の完成を楽しみにお待ちしております！



## 見本お申し込みフォーム

こちらの用紙にご記入の上、FAXをお送りいただくか、お電話にてお問い合わせ下さい。

**TEL. 03-3304-5562 FAX. 03-3304-5316**

ご審査・ご検討用見本（無料） ご希望の教材にを入れて下さい。

I

II

III

※I・IIの改訂版は10月以降のお渡しです。IIIは2023年10月の予定です。

貴校名

お電話番号

〒  
送付先住所

ご担当者名

役職名

Emailアドレス

